

# 生活習慣病にビワ茶

ビワの葉を使ったビワ茶の生理機能について研究している鹿児島大学などの合同研究チーム(代表・坂田祐介農学部教授)は、ビワ茶に血糖値増加や血圧上昇を抑える効果があることを動物実験で確認した。神奈川県藤沢市で開かれる日本食品科学工学会で二十日、発表する。

研究グループは、蒸留水で煮出したビワ茶を濃縮、乾燥させて成分を抽出。ビワ茶成分を加えた餌と通常の餌をモデルマウス各六十匹に与え、血糖値や血圧の違いなどを測定した。

糖尿病のモデルマウスで血糖値の違いを測定した実験では、ビワ茶成分を混ぜた餌を与えられたマウスは、通常の餌を与えられたマウスに比べ平均血糖値が約19%低く抑えられた。

高血圧のモデルマウスを使った実験では七週間で平均して血圧が約二〇(単位は「水銀柱」)低く抑えられたという。別の実験では腎臓周辺の内臓脂肪量が少なかつたほか、中性脂肪が約54%抑制された。

研究チームの藤井信鹿児島大教授(食品機能学)は「ビワ茶の持つさまざまな効果が確認された。今後はビワ茶成分の分析を進め、人間に対する効果についても調べていきたい」と話している。

## 血糖、血圧、中性脂肪を抑制

鹿児島大など確認